

# あおり就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画【概要】

(令和2年12月18日 第2回あおり就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議で策定)

## 1 策定の背景と目的

- いわゆる就職氷河期世代（概ね平成5年～平成16年に学校卒業期を迎えた30代半ばから40代半ばの世代を指す。）は、バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、希望する就職ができず、現在も不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業やひきこもりの状態にあるなど、様々な課題に直面している方は、全国で約100万人に上ると見込まれている。
- 「あおり就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」では、就職氷河期世代が抱える課題やニーズを踏まえ、各界が一体となって一人一人の状況に応じた支援に取り組むことにより、県内の気運を醸成するとともに、就職氷河期世代の**正社員就職・正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加の実現**を目指す。

## 2 目標

事業実施計画期間：令和2年12月18日から令和5年3月31日まで

- 就職氷河期世代の**正規雇用者を3,300人増**やす。（政府の目標（骨太方針2019）である30万人の約1.1%）
- 長期間無業状態の方には、地域若者サポートステーションを中心に、就職活動へ踏み出すための支援を行い、就労等の職業的な自立を促す支援につなげる。
- 社会参加に向けた支援を必要とする方には、支援対象者の状況等を把握し、支援対象者及び家族のニーズや状態に応じて、就労に限らない多様な社会参加に向けた支援体制を構築する。

## 3 主な取組

### ◆ 不安定な就労状態にある方へ

- ハローワークに専門窓口を設置
- ハローワークを始めとした相談体制の整備・充実
- 職業訓練の実施等による雇用期間の拡大
- 企業と就職氷河期世代のマッチングを図る就職面接会等の開催
- 助成金等による正社員雇用・正社員転換等企業の取組支援

### ◆ 長期にわたり無業の状態にある方へ

- 地域若者サポートステーションと福祉関係機関との連携強化による相談体制の整備・充実
- 地域若者サポートセンターの専門相談員による職業意識やコミュニケーション能力向上
- 地域若者サポートステーションで提供する「職場体験・見学」の受入れ先拡大

### ◆ 社会参加に向けた支援を必要とする方へ

- 支援対象者の実態把握
- 自立相談支援機関におけるアウトリーチ支援等の相談支援の強化
- 支援者の資質向上に向けた研修の実施
- 市町村プラットフォームの形成に向けた好事例の紹介など市町村支援

### ◆ 社会気運の醸成・効果的な周知広報

- あおり就職氷河期世代活躍支援プラットフォームで採択した支援等を広く周知
- メディア、ホームページ、広報誌等あらゆるルートを通じた支援策の積極的な広報